

# 青少年センター だより

第9号

平成29年10月

編集発行

安曇野市青少年センター

安曇野市教育委員会生涯学習課

事務局：生涯学習課社会教育担当

〒399-8281 安曇野市豊科6000番地

☎0263・71・2000 ㊟71・5000

**「第42回長野県青少年補導活動推進大会」が開催されました**

7月14日、県内の青少年補導委員が一堂に会し、日頃の活動状況や諸問題を持ち寄り発表を行う長野県青少年補導活動推進大会が、飯山市文化交流館「なちゅら」で開催されました。

今回安曇野市は、発表市4市の内の一つに選ばれ、事例発表を行いました。

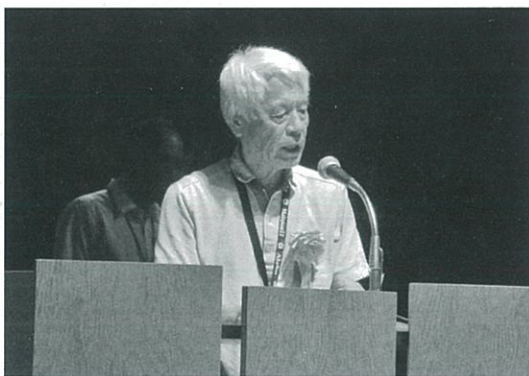
大会は、長年補導活動に携わった皆さんの表彰が行われた後、中野市、東御市、伊那市、安曇野市が日頃の活動に関する事例発表を行いました。発表の後には、白澤章子さん（川中島の保健室）代表による講演「性と生を豊かにはぐくむために」が行われました。

安曇野市の発表では、穂高地域青少年育成連絡協議会の会長を務めるとともに市青少年センターの委員でもある望月文規さんが事例発表を行いました。

望月さんは、市青少年センターの成り立ちや活動内容について触れ、学校が長期休みの時、市内5

地域において青少年委員を中心として実施する街頭巡回活動事業等について説明。併せて、穂高地域青少年育成連絡協議会の活動内容について発表を行いました。

過去において穂高地域の糸線駅を中心に、目的も無いまま中高生が集まっていたり、学校が授業をさぼったりという状況が発生し、学校やPTAをはじめ当時の状況を見かねたいいくつかの団体が連携して巡回活動を実施しながら何年もかけて正常な状態に戻った経緯について説明しました。そのような歴史を経ながら穂高地域青少年育成連絡協議会は、組織されていった会であるこ



事例発表する望月文規さん

とや、現在の会は16団体から構成され、活動している事業の一つに、あいさつや声がけなどを中心に、公民館や穂高地域にあるJR駅4カ所にのぼり旗を設置し、啓発活動を継続して行っていることが発表されました。

その他、中野市の発表では、昔は神社で子ども達の遊ぶ姿が見られたが、この頃は巡回しても見かけられなくなった、街頭でも見かける子どもの数が年々減ってきており、子ども達の生活スタイルの変化が顕著となってきた、との発表もありました。

白澤章子さんによる講演では、男子からの相談が多く寄せられる傾向があり、男子の性教育の必要性を強く感じることや、昔は異年齢交流の中で相談する機会もあったがそのような機会が少なくなってきたのではないかとお話がありました。

また、現在学校では性教育が進められているが、性の学びは子どもだけのものではなく大人も学ぶことが必要であるとも述べられました。

「イカのおすし」を知っていますか？

これは平成16年に、子どもが誘拐などの犯罪被害に巻き込まれないうために警視庁が考案した防犯標語です。

【イカ】いかない

・知らない人にはついていかない

・危ないところにいかない

【の】のらない

・知らない人の車にのらない

・知らない人の誘いにのらない

【お】おおきな声で叫ぶ

・危なかつたらおおきな声で叫ぶ

・怖かつたらおおきな声で叫ぶ

【す】すぐ逃げる

・人のいるところにすぐ逃げる

・近くの家にすぐ逃げる

【し】しらせる

・周りの大人にしらせる

幼児や小学生のお子さんやお孫さんがいる家庭では、この「イカのおすし」をお子さんと一緒に外出時の約束事としてぜひ確認しておきましょう。

知っておきたい

ネット・スマホの安全教室 ⑧

ネットを通じて知り合った人からの誘い出し・脅迫・画像の強要

○ SNSやゲームサイトには、ミニメール機能があります。気軽に連絡が取り合えるので、見知らぬ人に親近感を持ちやすい傾向があります。しかし、性別や年齢を偽ることもできます。実際に会うと、まるで別人、脅迫などのトラブルに巻き込まれることがあります。

・ミニメールでのやり取りにより、相手に親近感を抱き、冷静な判断を失うことがあります。安易な気持ちで、知らない人からのメールに返信することは大変危険です。

・ミニメールで知り合った人に、電話番号などの個人情報を教えてはいけません。

・信頼できる友人であっても、性的な画像や動画は撮影させない。また、送信しない。データは容易に複製・共有されてしまう危険性があります。

掲示板などへの書き込みをきっかけとした暴力行為

○ 軽い気持ちでメッセージを掲示板やSNSへ書込んだことが、トラブルになることもあります。書き込まれた人が内容に不満を持ち、書き込んだ人に暴力を加えた事例もあります。

・ 軽い気持ちで書き込んだ言葉でも、相手をひどく傷つけてしまうことがあります。内容を読んだ相手が、どのような気持ちになるかをよく考えましょう。

・ 文字によるコミュニケーションは、顔を合わせた会話と比べて、感情や真意が伝わりにくいため、気を付けましょう。

・ インターネット上で発信した情報は多くの人にすぐに広まり、拡散した情報は完全には削除できません。



青少年相談窓口をご利用ください

誰にも相談できず一人で悩んでいる児童・生徒の皆さん、子どものことで悩んでいるお父さん、お母さん等、気軽にセンターへ電話ください。メールでの相談も受け付けています。一緒に解決の糸口を見つけましょう。

青少年センターでは、家庭での引きこもり、学校での交友関係やネットいじめ、不登校、万引きや家庭内暴力等の問題行動、自分自身のこと等、青少年に関する相談を受け付けています。

- 電話・面接での相談 ☎ 71・2462 (月曜日～金曜日：午前9時～午後5時)
- 電子メールでの相談 ✉ seishonen@city.azumino.nagano.jp (24時間受付)